

授業科目名	社会的養護Ⅱ	担当教員名	入江 実
必修/選択	必修(保育士資格)	開講学年・学期	2年 前期 (年間開講数 2講座)
科目区分	保育に関する科目	単位数	1単位
施行規則に定める科目区分等	保育の内容・方法の理解に関する科目(別表1)	授業方法/担当形態	演習 / 単独
		特記事項	※実務経験のある教員等による授業 児童養護施設主任児童指導員としての実務経験を活かして、具体的な実践記録を紹介して授業を行っている。
授業の到達目標	(1)子どもの理解を踏まえた社会的養護の基礎的な内容について具体的に理解する。 (2)施設養護及び家庭養護の実際について理解する。 (3)社会的養護における計画・記録・自己評価の実際について理解する。 (4)社会的養護に関わる相談援助の方法・技術について理解する。 (5)社会的養護における子ども虐待の防止と家庭支援について理解する。		
授業の概要	社会的養護(Ⅱ・内容)のテキストを使用して、各学生に課題を設定する。それをレポートすることにより、学生自ら学び、社会的養護の理解を深めることにする。		
テキスト	「三訂保育士をめざす人の社会的養護内容」辰巳隆・岡本真幸編著(みらい)		
参考書・参考資料等	特に指定せず		
成績評価の方法	○授業への参加意欲：20% ○レポート：25% ○定期試験：55%		
授業計画	授業の内容	到達目標番号	
第1回	演習の進め方		
第2回	1.社会的養護の内容 (1)社会的養護における子どもの理解		
第3回	1.社会的養護の内容 (2)日常生活支援		
第4回	1.社会的養護の内容 (3)治療的支援		
第5回	1.社会的養護の内容 (4)自立支援		
第6回	2.社会的養護の実際 (1)施設養護の生活特性及び実際		
第7回	2.社会的養護の実際 (2)家庭養護の生活特性及び実際		
第8回	新聞記事を教材とした学習		
第9回	3.社会的養護における支援の計画と記録及び自己評価 (2)社会的養護に関わる相談援助の知識、技術とその実践		
第10回	3.社会的養護における支援の計画と記録及び自己評価 (2)記録及び自己評価		
第11回	4.社会的養護に関わる専門的技術 (1)保育の専門性に関わる知識、技術とその実践		
第12回	4.社会的養護に関わる専門的技術 (2)社会的養護に関わる相談援助の知識、技術とその実践		
第13回	5.今後の課題と展望 (1)社会的養護における家庭支援		
第14回	5.今後の課題と展望 (2)社会的養護の課題と展望		
第15回	全体のまとめ		
定期試験	筆記試験		